

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 14 日作成)

委員会名	PC 部材終局性能・設計法小委員会	主 査 名：中塚 侑
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (プレストレストコンクリート構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：浜原正行
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	2004 年度に計画するシンポジウム、ならびに数年先に計画される当会のプレストレストコンクリート設計施工規準・同解説に対する新版発刊に向けて、PC 部材の終局性能を明確化すると同時に、同規準にまとめるべき部材設計法について審議・検討する。	
委員構成 (委員名(所属))	中塚 侑(大阪大学) 阿波野昌幸(日建設計) 浅川弘一(オリエンタル建設) 岡本晴彦(竹中工務店) 寒川勝彦 (ピーエス三菱) 岸本一蔵(大阪大学) 北山和宏(東京都立大学) 是永健好(大成建設) 河野 進(京都大学) 菅田昌宏(竹中工務店) 永井 覚(鹿島) 浜原正行(日本大学) 増田安彦(大林組) 溝口 茂(高周波熱錬) 鳥屋隆志(ドーピー建設工業) 以上 15 名	
設置 WG (WG 名：目的)	PC 接合部 WG： 現行の PC 基準には PC 梁 - 柱接合部の規定はないが、数年先に予定される新 PC 規準には、PC 接合部設計法の提案が不可欠である。	
2004 年度予算	180,000 円	

項 目	自己評価				
	開催日	4 / 1 3	7 / 1 3	9 / 1 3	1 1 / 2 2
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	参加者(人)	1 0	1 3	1 2	1 3
	提出資料数	9	9	1 2	1 3
	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)				
得られた成果	<p>1 . 2004 年度大会において開催された PC 構造部門のパネルディスカッション「性能評価型 PC 規準に向けて - 設計手法とその課題 - 」に本委員会の活動内容の概要に関する資料を提出し発表した。</p> <p>2 . 本小委員会の設置目的の一つであるシンポジウム「プレストレスト(鉄筋)コンクリート部材の終局性能評価手法 - 考え方の基礎から最前線まで - 」を、東京(2005.1.27)と大阪(同 2.1)で開催し、合計 1 3 9 名の参加者を得た。数年後に予定する新 PC 規準作製に必要な、鋼材の付着、部材の荷重 - 変形関係、各種限界状態の定義、梁柱接合部の力学特性、圧着接合部の力学特性などに関する最近までの知見を発表した。</p>				
	委員会 HP アドレス：				
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)				
	予定した活動計画をほぼ十分達成した。				
その他評価すべき事項	特になし				